
公益社団法人 日本航空機操縦士協会
メールマガジン Vol.183 2026/8/17

いつも JAPA メールマガジンをご愛読頂きありがとうございます。
今号は以下の内容でお送りいたします。

★—INDEX—★

- [1] 【三役コラム】ヘリの活躍
- [2] 【常務理事コラム】時の移ろい
- [3] 【VOICES FEEDBACK】
- [4] 【お知らせ】航空大学校操縦教官(契約職員)の募集について
- [5] 【お知らせ】第36回近畿地区管制・情報懇談会及び
令和8年度意見交換会（運航者と管制官）のご案内
- [6] 【お知らせ】中部地区管制交流会および懇親会開催のご案内
- [7] 【お知らせ】セミナー・イベント
- [8] 【お知らせ】JAPA SHOP よりご案内
- [9] 【ご案内】公益社団法人 日本航空機操縦士協会 ご入会案内

★

- [1] 【三役コラム】ヘリの活躍
副会長 西塚 彰

★

7月28日に発生した熊本地震により被害に遭われた皆様に、心より
お見舞い申し上げます。
今日は、私が以前所属していたオリエンタルエアブリッジ ORC の
防災ヘリ部について、少しお話ししたいと思います。
長崎県から受託運航している ORC 防災ヘリ部は、今回の地震災害

の中で、負傷された方の病院搬送や、受け入れがひっ迫している病院からの患者さんの移送、そして同乗した医師を元の病院へ送り届ける輸送などにあたっているそうです。

普段は、長崎消防から派遣された消防士とともに、湖や山岳地帯で訓練を重ねながら、遭難救助や県内離島住民の病院搬送、山火事への対応など、さまざまな任務を担っています。

そんな日々の活動の中で、お子さんの臓器を移植のために緊急搬送する任務もあったと聞きました。

臓器を載せて離陸する機体を、ご両親が手を合わせて見送っておられたそうです。

その情景を思い浮かべるたびに、今でも胸が熱くなります。

人の命を支える仕事には、言葉では言い尽くせない責任と使命があるのだと、あらためて感じます。

へり業務に携わる皆様の安全運航と、今後ますますのご活躍を心よりお祈りいたします。



[2] 【常務理事コラム】時の移ろい

常務理事 大里 将之



皆さん、こんにちは。

常務理事を務めております大里将之です。

JAPA では広報企画委員会の委員として希望された正会員の皆様に毎年無償で配布している PILOT HANDBOOK（通称：パイロット手帳）の編集を担当しております。毎年6月時点公開のAIPデータ等を参考に次年の収録項目を手作業にて調査し編集を行っております。

毎年編集を行っておりますと「時の移ろい」を感じることもあります。例えば、航空保安無線施設であるNDBは廃局により年々その数を減らしていましたが、最後に残った父島NDBも2024年に廃止されAIPに記載されている国内のNDB局はゼロとなりました。

今年も 2027 年版の編集作業を先日終了させたばかりですが、「時の移ろい」を感じるがありました。

資料編にて「中波放送局」を収録しており、各地域ごとの AM ラジオ局の局名、周波数、送信出力を記載しています。

日本全国の主なラジオ局を収録すると昨年までは 2 頁半ほどの Volume となっていたのですが、本年の編集作業では 1 頁強の Volume となってしまいました。

これは民放 AM ラジオ局のワイド FM 化、NHK 第二放送の廃止によるところが原因のようです。

今回のコラムを執筆するにあたり初めて知ったのですが、AM の送信設備は FM やテレビと比較して大型の施設や非常電源装置等の設備が必要となり、ラジオ局にとって経営的な大きな負担となっているようです。radiko と言ったインターネットやより高音質な FM でのラジオ聴取環境が普及してきているので今後もこの傾向は拡大していくものと予想されます。

パイロットにとっては航法援助手段としてラジオ放送の電波を使用することについて AIM-J に記載があります。また私も業務で初めて太平洋を横断する路線運航に従事した際は先輩から NHK 札幌の周波数、その周波数もなんと 747KHz で出力も強大な 100KW であり、万が一の際には使用できる旨教えられたものですが、そのようなものがなくなってしまうことに一抹の寂しさを感じながら編集作業を行っておりました。

「時の移ろい」の中で様々な変化がありつつも、使用頂く会員の皆様の利便向上に繋がるように今後とも収録内容等も検討しつつ編集してまいりたいと思います。

また、各支部や各委員会経由にて手帳に対するご意見を広報企画委員会へお伝えいただけますと大変ありがたいです。

広報企画委員会への直接のご意見も下記アドレスにて常時受け付けておりますのでいつでもご連絡ください。japa-dx@japa.or.jp



[3] 【VOICES FEEDBACK】

《①》「アサーション」は管制官に対しても！

《②》MEA 未満への降下



《①》「アサーション」は管制官に対しても！

RWY 09 での TGL 訓練中の出来事。自機は PWR Off LDG のため Short Downwind への進入を管制官に要求し、“Make Circle on Short Downwind”の指示に従い Short Downwind で Hold していた。また、そのとき Call Sign がよく似た他機が別の場所で Hold しながら Crew Change をしていた。

到着機も着陸し、そろそろ自機に Touch and Go のクリアランスが来るかなと思っていたところ、なぜか Hold 中の他機に“Cleared Touch and Go”のクリアランスが発出された。その時点で私は、管制官が自機と他機を混同しているのではないかと思ったが、自機に向けられたクリアランスではないため応答しなかった。

また他機も疑問を持ったようで、クリアランスに Confirm していた。それでも管制官は再度他機にクリアランスを発出し、他機はそのクリアランスを復唱した。さすがに管制官が間違っていると私も確信したため、“自機は現在 Short Downwind で Hold しています”と遠慮がちに管制官へ通報（good）をしたが、Call Sign 間違いに気づいてくれるまで時間がかかった。私はその間も Short Downwind で Hold していたが、次の瞬間 Hold していた他機が Normal Downwind に進入して来るのが見え、このまま飛行すると衝突すると思ったため、教官のアシストも得て 45° 以上の Bank で相手機を回避した。ヒヤッとした瞬間であった。コールサインが類似であったため管制官がコールサインを取り違えたケースであった。この事例に限らず、明らかに相手が間違っていると思った場合は、相手がたとえ管制官であろうと、遠回しではなく、「間違っていますか？」とはっきりアサーションするべきだったと反省した。

（VOICES コメント）

疑義のある管制指示に対しては、他機の状況を認識しつつ納得いくまで確認する必要があると思います。

《②》MEA 未満への降下

伊丹から羽田で、副操縦士昇格訓練（右席が訓練生）での出来事であった。上空の Windshear のため FL150 で Plan していた。

しかし、予想以上に揺れが続き、Seat Belt Sign を Off にできないため、13,000ft への降下を行った。その際、QNH が必要であることや、中部空港の Approach Area に入る可能性があることなどを話し合っていた。ATC からは FL140 が来た後、13,000ft への降下の指示が来た。当初何の疑問もなく降下していたが、SHOOT 付近において、OBS Seat の副操縦士から「MEA を切っているかもしれない」という Assertion を受けた。当初、SHOOT 以降の MEA が FL150 と思っており、すぐに前の WPT に Direct を Request したところ、ATC から“HDG 110”の指示を受けた。FLT 後今一度確認したところ GAKKI 以降の MEA が FL150 であり、ATC の指示には従っていたものの、そのときに MEA 以下へ降下してしまったことがわかった。訓練生が初めての路線訓練ということに加えて、大きな揺れが Threat になっていたと思われる。

Seat Belt Sign を Off にすることに注意が向いてしまい、MEA の確認がおろそかになってしまっていた。また、QNH の高度帯への降下に意識が向いてしまっていたのも原因だと思われる。

Dispatch では MEA を確認しており、往路ではしっかり確認していたが、復路では MEA への意識が希薄になってしまっていた。

ATC からの指示だということで安心せず、自分でも確認しなければならなかったと思った。

（VOICES コメント）

MEA 未満への降下指示事例は過去にも Feedback 2024-02-056 等、複数報告されています。レーダー管制下の MVA より高い MEA は、管制官にとって盲点となりやすく注意が必要です。



[4] 【お知らせ】 航空大学校操縦教官(契約職員)の募集について



詳細は下記 URL をご参照ください。

<https://www.japa.or.jp/wp-content/uploads/2026/08/e1565e57a3a971a02811f9d221c367f0.pdf>



[5] 【お知らせ】 第 36 回近畿地区管制・情報懇談会及び
令和 8 年度意見交換会（運航者と管制官）のご案内



大阪航空局八尾空港事務所、八尾空港協議会、JAPA 共催で
第 3 6 回 近畿地区管制・情報懇談会及び令和 8 年意見交換会
（運航者と管制官）を開催します。

日 時：令和 8 年 9 月 4 日（金）13：00-15：40

場 所：八尾空港内 第一航空株式会社
第 3 格納庫 事務所 2 階 会議室

詳細は下記 URL をご参照ください。

<https://www.japa.or.jp/wp-content/uploads/2026/07/2c68d7606b2d1781cf95c890a1cb8763.pdf>



[6] 【お知らせ】 中部地区管制交流会および懇親会開催のご案内



中部支部では「中部地区 管制交流会・懇親会」を下記の通り
開催いたします

日 時： 2026 年 8 月 27 日（木）14：05 開場

中部地区管制交流会 会場：中部国際空港貸会議室 R1

懇親会 会場：シルクロード名駅店

詳細は下記 URL をご参照ください。

<https://www.japa.or.jp/wp-content/uploads/2026/07/e62db89095fc7ab60e7ed2e5af13de06.pdf>



[7] 【お知らせ】 セミナー・イベント



《航空安全講習会》

8 月 23 日 東京開催

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=3>

《Fly with us～空の仕事ワークショップ～》

9 月 5 日 神戸開催

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=4>



[8] 【お知らせ】 JAPA SHOP よりご案内



【お知らせ】

九州地方への配送遅延および熊本宛て荷受け停止について

詳細は以下ホームページをご覧ください。

<https://www.japa.or.jp/12742>

【新発売】

・ AIM－JAPAN 2026 年後期版（日本語）

ご注文については以下 JAPA SHOP をご覧ください。

<https://www.japa.or.jp/japa-shop>



[9] 【ご案内】 公益社団法人 日本航空機操縦士協会 ご入会案内



JAPA では会員を募集しております。

ご入会いただけますと、AIM JAPAN の配布の他、団体割引を適用した、JAPA 団体保険（ロスオブライセンス）へのご加入も可能ですので、ぜひご検討ください。

詳細は以下ホームページよりご覧ください。

オンライン入会を導入いたしましたので JAPA ホームページからすぐに入会手続き可能です。

皆様のご入会を心よりお待ちしております。

<https://www.japa.or.jp/member>

★次回の配信は 9 月中旬を予定しております★

JAPA メールマガジンの配信先変更方法及び配信停止方法については以下、ご参照の上、お手続きください。

<https://www.japa.or.jp/mail-magazine>

【発行】 公益社団法人 日本航空機操縦士協会

メール japa@japa.or.jp

ホームページ <https://www.japa.or.jp/>
